

成績評価と客観的な指標（G P A）の算出方法

成績評価

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者等宛に通知する。

- (1) 学業成績の判定は、「秀・優・良・可・不可」の5種で判定し、「秀・優・良・可」を合格とし「不可」は不合格とする。成績証明書にはランクの記載をする。また、授業科目の成績はそれぞれの評価に対して、下表に定める基準によりG P（Grade-Point）を与える。

| ランク | 得点 | 評定 | 評価内容 | GP |
|-----|-----------|-----|----------------------------|----|
| 秀 | 90点以上 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 |
| 優 | 80点～90点未満 | | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 |
| 良 | 70点～80点未満 | | 内容を理解している | 2 |
| 可 | 60点～70点未満 | | 内容をほぼ理解している | 1 |
| 不可 | 60点未満 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 |
| 認定 | — | — | — | — |

- (2) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、「秀・優・良・可」を取得した学生には所定の単位を与える。
- (3) やむを得ない事情により、授業科目ごとに行う試験を受験できなかった場合、追試験または再試験などを実施する場合がある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。
- (4) 試験内容や判定基準は、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認する。
- (5) 再試験により合格となったものの学業評価は、点数の如何に関わらず「可」とする。

客観的な指標（G P A）の算出方法

(1) 指標

成績評価における客観的な指標として、G P A（Grade Point Average）を用いる。

(2) 成績評価とG P

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、成績評価（1）記載の通り、G P（Grade-Point）を与える。

- (3) 相対評価により成績順位をつける場合にはG P Aを用い、順位づけの範囲は「学校」とする。

(4) G P A算出方法

$$G P A = \frac{\text{（履修科目のG P} \times \text{履修単位数）の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

G P Aの最高は4.0となる。（小数点第2位四捨五入）

以上